

1. 調査報告概要表

作成日平成 19年 7月 11日

【評価実施概要】

事業所番号	2671500110
法人名	社会福祉法人山彦会
事業所名	グループホームわたしの親元
所在地	〒622-0303 京都府船井郡京丹波町三ノ宮小谷30番地 (電話) 0771-88-0150

評価機関名	社団法人京都ボランティア協会
所在地	京都市下京区西木屋町上ノ口上る梅湊町83-1 ひと・まち交流館京都
訪問調査日	平成19年5月25日

【情報提供票より】(平成19年5月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 14 年 2 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤 7 人, 非常勤 2 人, 常勤換算	7.8 人

(2) 建物概要

建物構造	木造
	1階建ての 1階 ~ 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	1万円~2万円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有(円)	○ 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	1380円			

(4) 利用者の概要(5月1日現在)

利用者人数	9名	男性 0名	女性 9名
要介護1	2名	要介護2	3名
要介護3	3名	要介護4	0名
要介護5	1名	要支援2	0名
年齢	平均 84歳	最低 75歳	最高 91歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	丹波笠次病院 福知山紅葉ヶ丘病院 西田歯科医院
---------	-------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

京都府北部の兵庫県に接している京丹波町で、自然がたっぷりの場所にグループホームがある。同じ敷地内の特養とは少し離れており、平屋の和風建築で落ち着いた雰囲気をもっている。内部は適度に視線がさげられている設計のため、普通の家と変わらない。他のグループホームにはない利点として、どの部屋にも屋根付きのサンデッキがあり、雨の日でも洗濯物や布団を干したり、日光浴や読書、ゆっくりと山の緑を見るなど、入居者は楽しんで使っている。20代から60代までの職員は向上心があり、介護への意欲が高い。なかでも管理者とともに中心となっているケアマネジャーは毎月手書きのおたよりを家族に送るなど、気持ちの通い合う介護をめざして奮闘している。開設当時から低額の利用料は入居者に1日でも長くここで暮らしてほしいという願いがこめられている。そうした支援に支えられて入居者は、季節ごとの自然を楽しみながら、職員公募により命名された「わたしの親元」の表現するとおり、のびのびと生活している。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の評価結果を踏まえて、とくに重要な点を改善に取り組んでいる。服薬管理については徹底することにより、職員の認識が深まっている。地域住民の来訪が少ない点についても、その後の取組により、生きがいデイサービスの利用者がコーヒーを飲み、シルバーサービスの人がボランティアで草引きになど、来ていただける方も増えてきている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>今回の自己評価に関しては、施設長、ケアマネジャー、正規職員で取り組んでいる。日常の業務を振り返って、今後の課題を考えている。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議はまだ立ち上げられていない。いま準備中である。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>グループホームでの苦情受付窓口を設置し、意見箱もおいている。また法人内に、地域老人会長、民生委員、地区会長等からなる第三者委員を設置している。家族会もつくられており、グループホームの活動報告、料金などの説明等々を積極的にこなっており、ほとんどの家族の参加がある。ただ、種々の取組にもかかわらず、家族の意見はあまりでてこないのが、苦慮している。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>住宅街を少しはずれた場所にグループホームがあるため、地域行事に積極的に参加することで地域との連携をはかっている。地域行事には協賛したり、企画段階から理事長が参加するなど、積極的に取り組んでいる。利用者は梅の花見、ふれあい春祭り、あじさい園見学、花火大会、菊花展見学、紅葉狩り等、季節ごとに参加しており、地域の運動会や小学校の運動会にも参加している。</p>

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人の理念は「地域に密着したあたたかい介護」、またグループホームの理念は「安らげる環境のなかで、一人ひとりのペースにあわせて介護し、認知症の進行を緩やかにし、快適で安全な生活をサポートする」と、パンフレットに記されている。また重要事項説明書には方針として「①地域、家庭、医療、福祉の連携、②利用者の人格を尊重し、職員との信頼関係を築く、③入浴、排泄、食事、リハビリテーションの介護をおこなう」と書かれている。	○	パンフレットにも、契約書にも、重要事項説明書にも、理念としての明記はない。法人理念をふまえて、グループホームの職員が話し合い、グループホームの独自の理念を策定し、契約書に明記するとともに、契約時に利用者や家族に十分説明することが求められる。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	上記の方針は、グループホーム会議、スタッフ会議等で話し合われている。	○	理念は日常の業務の核となるものなので、毎日の業務のなかで、常に理念に照らし合わせての振り返りを行うことが望まれる。
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	瑞穂町の住宅街から少し離れた山ぎわにホームがあるという立地条件から、地域とのお付き合いは、地域での行事に参加することで取り組んでいる。梅の花見、人形展、ふれあい春祭り、紅葉狩り、あじさい園見学、花火大会、菊花展、地域の運動会等、季節ごとに取り組まれている。また小学校の運動会への参加もある。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	今回の自己評価は施設長、ケアマネジャー、正規職員2人でおこなった。評価に関してはグループホーム会議で説明し、職員の認識は得られている。前回評価の際に指摘されたことは①地域住民の来訪が少ない点、②服薬管理の2点だったが、改善に取り組んでいる。地域住民の来訪もあり、服薬管理は徹底されている。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は立ち上げられていない。	○	運営推進会議は規約を作成し、利用者本人、家族、地域住民、市町村職員等をメンバーにし、2カ月に1回開催すること、会議の内容は、グループホームや認知症への理解と協力、ホームの運営の報告、サービスの質の向上についての意見を具申すること等が求められる。

グループホームわたしの親元

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	京丹波町の介護保険課の職員と毎月連携をとっている。運営規程を年1回報告し、法人の介護保険事業計画を年3回報告し、協議している。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	定期的には毎月1回、利用者の様子を手書きで手紙を書き送付して喜ばれている。その他に、写真がいっぱいでわかりやすく書かれた『わたしの親元だより』が年4回発行され、そこには行事報告、行事予定、家族会の様子、職員異動等が報告されている。金銭預かりをしている入居者については、預り証、領収書等報告されている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情受付窓口担当者設置と意見箱を設置しており、地域老人会長、民生委員、地区会長等からなる第三者委員が設けられている。家族会もあり、種々の取組がなされている。第三者委員会議事録、家族会議事録等は残されている。家族会では行事等運営報告、会計報告等をおこなっている。意見があまり出ないことに苦慮している。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者への影響を配慮して、法人の方針による異動は少数に抑える方針はある。異動する職員は利用者に挨拶をしている。その場で、利用者への思いが残り、感情がたかぶり、泣きだしてしまう職員もいる。	○	法人として職員に公平に種々の職場を経験させるという異動ではなく、認知症ケアの研修としてグループホームへの異動をおこなうことが期待される。
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新規採用職員についてはそのつど研修を行い、また法人内研修は時宜に応じたテーマ、たとえば感染症などで毎月おこなっている。資格取得の意欲ある職員には情報提供しており、取得後の待遇アップもおこなわれている。職員一人ひとりの課題については管理者とともに話し合っている。基本的にはスキルアップは毎日の業務のなかで行われる。	○	認知症や認知症ケアに関しては、現在日進月歩で進化しているため、法人内研修にとどまらず、外部研修を積極的に受講すること、その支援が求められる。また受講後はレポートや報告会により、共有化することも大切である。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	聴覚障害の入居者が他の施設に移転したことにより、移転先の施設の入居者と職員も共に交流が深まり、お互いのサービスの向上に関して意見交換している。また近隣の施設としてみわの里との交流は職員レベルでおこなわれている。		

グループホームわたしの親元

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居者の利用にあたっての不安を解消するために、入居者本人と家族が利用前に見学したり、試しに宿泊したりしている。申込者にはなるべく試し利用をすることを薦めている。また単なる見学ではなく、利用以前にデイサービスのよう、利用してみる人もいる。		
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は入居者と一緒に過ごす時間を多く持つことを心がけている。毎日の生活のなかで、さまざまな家事と共にすることによって、職員が入居者から教わるが多い。時には叱られることもある。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用申込があった利用者に関して、家族構成、生活環境、サービスの利用状況、薬情報やサマリーを含めた医療情報、簡単な生活歴等の情報が収集され、本人と家族の意向が聴取されている。本人が認知症の進行の結果、意欲がない場合も、できるだけ聞く努力がされている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	入居者一人ひとりに担当職員を決めており、その職員は担当の入居者をできるだけ深く知る努力を日常的におこなっており、介護計画への意見を言っている。家族だけではなく、本人の意向が何かにより、介護計画が立てられている。単なる三大介護にとどまらず、生活のなかの何らかの楽しみを介護計画に反映する試みがなされている。作成された介護計画は職員が確認することを指示しているが、サインなどが求められる。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の見直しは、状態変化の際と、定期的には3月に1回、おこなわれている。モニタリングの書式はない。介護記録は詳細に書かれているが、介護計画にそった内容になっていない。	○	身体介護のみならず、生活のなかの楽しみについても介護計画に反映されているので、毎日の介護記録にはその視点にたつての記録が求められる。介護計画に沿った介護を実施して、入居者はどんな表情だったのか、どんな発言があったのか、そういった記録は介護計画の評価につながるの、見直しの際のエビデンスになる。

グループホームわたしの親元

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	連携医療機関への通院介助は職員の同行により、おこなわれている。日常的な外出の他に、舞鶴に行くなどの日帰り旅行の特別な外出も取り組まれている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	状態変化があったときに、かかりつけ医に家族が受診同行する場合などは、グループホームの把握している情報をサマリーとして出している。入院された場合は医師からサマリーを入手している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居者が重度にならない前の早期の段階から、本人や家族と十分話し合っ、最期の迎え方を準備している。その際に、本人と家族にはホームから選択肢を示している。家族会でも十分説明している。ホームとしては希望があれば、最期まで看たいと考えている。認知症専門医は連携がとれている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は入居者のプライバシーを守ることにについて、日常的に話し合い、振り返り、認識している。トイレの戸を開けたままで使用している利用者にはさりげなく注意している。声かけの際にも十分配慮している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	おおよその日課はあるが、それにこだわらず、毎日の生活は入居者の自由である。起床時間、就寝時間もそれぞれである。入浴の希望に応じるには、シャワーで対応している。		

グループホームわたしの親元

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者は職員とともに2つの食卓に別れて食事している。テレビは消されており、会話がある。お箸、湯のみ、茶碗は使い慣れたものが持ち込まれている。入居者は調理の手伝いや配膳等を職員とともにこなしている。好きな食べ物や献立はできるだけ希望を聞くようにしている。	○	食卓に入居者の名前を書くのはいかがなものかということ、職員は入居者と同じ献立を食べていないこと、食卓に箸おきを使ったり、花を生けたり、調味料やお茶セットをおくなどして食事の雰囲気を盛り上げること、などが求められる。
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	現在週2回の入浴に取り組んでいる。浴室の大きく切った窓の外には山里の風景が広がり、露天風呂のような味わいがあり、時には仲の良い入居者同士が入浴することもある。ゆず風呂なども取り組んでいる。同性介助をしている。	○	入浴は食事とともに、入居者の毎日の生活での大きな楽しみのひとつであることに鑑み、入浴回数を増やしたり、入浴時間に臨機応変に対応すること、マンツーマンの介助等が望まれる。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	毎日の家事として、自分の居室の掃除、玄関前の掃き掃除、ゴミ出し、花の水遣り、洗濯物干し、洗濯物たたみ、カレンダーめくり等々の役割が分担され、果たされている。レストランで働いてきた人におしぼりたたみをお願いするなど、生活歴からの取組がなされている。楽しみとしては縫い物、塗り絵、貼り絵、ドライブ、散歩が取り組まれている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	山に近いところにあるという立地条件から、地域との交流にはホームから出かけることになり、季節ごとに取り組まれている。地域行事の他に、買い物、外食、喫茶店なども取り組まれており、日帰り旅行も積極的におこなっている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関ドアは施錠されている。外へ出る入居者には職員がついていく。グループホームや認知症の人の徘徊などに対して、地域住民の理解は一定あり、見かけたら知らせてもらったり、つれてきてくれたりする。ただホームのすぐそばに山があり、山中に入ってしまったら、対応が困難となる。	○	山に対する点ならば、何らかの対応策を考え、玄関ドアは日中は施錠しないことが求められる。
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回の避難訓練をおこなっている。1回は独自でおこない、1回は消防署との連携でおこなっている。船井郡自衛消防団に入り、訓練しており、消防計画も作成している。防災協定書に代わるものとして、地域の高齢者あんしんコーディネート事業に参加している。いざとなれば特養からの応援が得られるとしても、2、3日分の備蓄が期待される。		

グループホームわたしの親元

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取や水分摂取に関して、注意の必要な入居者には記録をとっているが、すべての入居者の毎日の摂取量の記録はない。また、献立のカロリー値の記録もない。食べ残しがあった場合は、特記事項に記している。	○	入居者全員に関して、毎食の摂取量と水分摂取量を記録すること、同時に献立のおおよそのカロリー値を記録することが求められる。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関先にはプランターや植木鉢に季節の花が咲き乱れ、ドアは家庭的であり、中には傘たて、下駄箱の上に生け花、壁には書の軸等がある。上がりがまちは低く、廊下に続き、居室が並んでいる。居間兼食堂は大きなガラス窓により明るく、外の景色が四季を問わず目に入ってくる。すぐよこには畳みコーナーに掘りコタツがあり、段差が低いため、利用しやすい。廊下には入居者手作りの作品などが掲示されている。整頓されすぎず、適度に雑然としているので、落ち着いた雰囲気となっている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は洋室と和室があり、希望により、洋室に畳を敷いたりしている。ベッド、物入れ、箆笥、棚、洗面台が備えられている。どの部屋からも障子戸を開けるとサンデッキに出ることができ、屋根があるので椅子に座った日光浴をしたり、雨の日でも洗濯物や布団を干すこともできる。他のグループホームにはない大きな利点である。		